

## 令和5年度第2回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

### 1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 令和5年（2023年）6月2日（金） 午後3時00分～同4時30分
- (2) 開催場所 宝塚市役所 2-3会議室 （リモート併用）
- (3) 出席者
  - ・景観審議会デザイン協議部会委員  
岩井委員、大平委員、川崎委員、田中委員、山根委員、戸川委員
  - ・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）  
福田室長、谷口課長、下山係長、武田職員、白川職員
  - ・設計者
    - 議事① 事業者 金井重要工業株式会社  
設計者 株式会社フロンティアイレブン
    - 議事② 事業者 株式会社三和建设  
設計者 株式会社アアク設計
- (4) 議 事
  - 議事① （仮称）金井重要工業株式会社 倉庫A棟B棟建屋新築工事
  - 議事② 宝塚市長尾町分譲計画
- (5) 傍聴者  
0名

### 2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員6名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

なお、本日は徳尾野部会長が欠席のため、職務代理者である大平副部会長に会長として議事進行を行っていただきます。

会 長： 本日の署名委員は順番により、5番田中委員と9番戸川委員です。

☆☆☆★ （仮称）金井重要工業株式会社 倉庫A棟B棟建屋新築工事 ★☆☆☆

会 長： 景観に配慮した点を中心に5分程度でご説明をお願いします。

設計者： 今回は、複数の建物を有する工場敷地の北側に新たに2棟の倉庫を建築する計画です。

建物の意匠については、以前同一敷地内で建築した建物と同様の素材や色彩を用いることで、全体的に統一感が出るようにしています。

また、建物は周囲へ圧迫感を与えないよう平屋建てとし、道路際の既存の高木も全て保全することで、道路景観へ配慮しています。

委員： 外壁の色彩について、マンセル値は1.7GY8.0/0.6ということですが、彩度0.6では色味が少なすぎます。彩度を上げて、色味のある色彩としていただきたいと思います。

特に壁面の大きい建物については、面積効果によりマンセル値より白っぽく見えてしまいますので、色彩の変更についてご検討をお願いします。

設計者： 外壁の色彩に関しては、今回の施工業者の規格が1色のみで、変更が難しいと考えています。

なお、既に今回の敷地内で採用しているもので、資料添付している前回竣工建物写真のものと同じ製品を、今回も使用する計画としています。

委員： 写真を拝見すると、材質としては全くのフラットではなく、少し凹凸のある横ストライプになっています。今回も同じ製品ですか。

設計者： 型押しで、同じ製品です。

委員： フラットな面と、凹凸のある面では、影の有無によって色の見え方が変わります。影がでてくると、白さがカバーされて良いです。もう少し影がでるような、ラインが細かく密であったり、溝が深い製品はありますか。

設計者： ALCパネルのようにリブ形状がデザインされた商品ではないので、凹凸はこの形状のみだと思います。

委員： フラットよりはずっと良いですが、もう少し影がでるデザインがあればより良いです。

もう少し彩度が高く、色が柔らかくて、真っ白に反射しないものをお探しいただけるとありがたいです。

会長： 色彩だけではなく、凹凸や材質でも見た目が変わってきますので、そういった点もご配慮いただきながら、再度検討していただければと思います。

設計者： 施工業者には、他に採用できる製品があるか再度確認してみます。また、費用面も含めて、一度持ち帰り検討いたします。

委員： 既存の建物の外壁を改修することについて、耐火性能を要求される部分のみを改修対象としてサイディング貼りされるようですが、改修対象となって

いない部分について、黄緑色の外壁が残る部分があります。この部分は、外部からも割合目に付くように思います。

黄緑色の外壁が残る部分がないようにサイディングを貼っていただくことは出来ないでしょうか。

設計者： 現状の計画では、必要最低限の部分を改修するという考えです。

2階の妻面の一部に既存の黄緑色が残りますが、建物全体の立面として見ると、こちらの既存色は、一面に対して4分の1以下には抑えた計画となっています。

委員： 予算上の問題などもあるかと思いますが、やはり周辺の住宅地からの見え方や工場全体の統一感等を考慮した際に、景観上より良いものにしていただきたいという思いがあります。

もしサイディングでの改修が難しいということであれば、例えば塗装等で色彩を統一していただくことはできませんか。

設計者： 分かりました。塗装する方向で調整をしてみます。

会長： 計画されているサイディング材のマンセル値は、2Y8.2/0.9で、先ほど議論した外壁と同様に、彩度が低いものになっています。サイディングと塗装部分の色彩については、少なくとも彩度2.0以上となるよう検討をお願いしたいと思います。

設計者： 設計者としては、計画している色彩で進めたいと思っています。

また、先ほどご意見いただいたように、こちらの材質も凹凸感がありますので、影ができて、少し落ち着いた色に見えると考えています。

会長： 敷地全体で複数の建物が今後もそれぞれ更新されていく際に、今回の計画で予定されているような非常に彩度の低い色彩が、敷地全体のベースになってしまうことを懸念します。

今回の計画については、材料の選択肢が限られているということかもしれませんが、今後の全体の計画も視野に入れていただきながら、ご検討いただきたいと思います。

委員： 敷地全体を見た際に、周囲の住宅や農地と、区域内の建物との間に植栽が配置されており、まちとのつながりに配慮いただいていることを感じます。

そのように配慮していただいているにもかかわらず、敷地境界線沿いに目隠しフェンスが設置されているため、せっかくの植栽があまり見えなかったり、周囲からの離隔距離が短く感じられる設えになっているように思います。

工場ですので、見せたくない部分を隠す必要がある部分もあるかと思いますが、しかし、現況は、良い部分も長大な目隠しフェンスで隠してしまっている状況です。

敷地の中を見てみると、実はすごく美しく、アニメーションに出てくる工場のようなようです。また、玄関部分は玉石の低い石積擁壁があり、人を迎え入れ

る雰囲気を感じるような、とても優しいつくりをしています。

せっかくこんなに素敵な工場ですので、今回のように新しい建物をつくる際には、周りとのつながりを是非考えていただきたいと思います。目隠しフェンスをしていると、冷たい印象になります。冷たい印象の場所には、冷たい建物が建ってしまい、この工場の良さが薄まってしまうと思います。

敷地内や周辺の並木道を歩くとき、山並みと一つ一つの建物が少しずつ重なって、「こんな工場があるまちに来たんだな」、「宝塚市にはこんな工場があっていいまちだな」と周りの人たちが思えるような景観をつくっていただきたいです。目隠しフェンスの見直しも含めて、全体の景観を検討していただければと思います。

会 長： 他市の事例ではありますが、工場が多く立地する区域での緑化について関わったことがあります。その際に、工場や倉庫の事業者の方々に、敷地境界際ではなく、敷地際にまず植栽を設けていただき、その内側に目隠しフェンスを設けるよう誘導しました。実際にやってみると、外側からは緑が見えて、随分印象が変わります。

今後の更新にあたって、植栽や目隠しフェンスについて見直しが可能でしたら、フェンスの位置の変更についても、是非ご検討ください。

また全体の色彩についても、統一感のある工業景観になるように、ベースとなる部分の色彩について、彩度を上げていただくことも引き続きご検討いただきたいと思います。

委 員： 現況の写真では、道路際の既存の高木が、景観上効いている一方で、配置が少しまばらで、また、木が弱っているような印象を受けました。

会 長： 既存の高木について、剪定をし過ぎてしまっているようにお見受けします。剪定をし過ぎてしまうと、緑量が減り、せっかく植えられていても本来の緑の景観の効果が半減してしまいます。

まずは維持管理面について、敷地側の方の枝は少し伸びても問題ないと思いますので、しっかりと緑の枝を這わせていただくのが良いと思います。

また、例えばヒマラヤスギのように、大きくなりすぎるものは一度伐採して、別の樹種へ植え替えていただくのも良いかと思います。既存の樹種でいうと、シラカシなどが適切です。

針葉樹の大きくなるようなタイプは、樹液がでたり近隣への影響がでたりすることもありますので、補植や樹木の更新等についても今後一体的にご検討いただきたいと思います。

会 長： 委員からのご意見が出揃ったかと思いますが、以上で議題第1号の審議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

☆☆☆★ 宝塚市長尾町分譲計画 ★☆☆☆

会 長： 景観に配慮した点を中心に5分程度でご説明をお願いします。

設計者： 今回は宅地造成の計画ですが、切土や盛土をあまり行わず、できる限り現地の地形に整合させるよう配慮しました。

宅地としては、十分に接道のとれた敷地とするため、専用通路等で戸数を増やすことはせず、間口の広い宅地を計画しました。また、区域中央には、公園を配置しております。

会 長： 今回計画では、道路に面して長大な擁壁等があるといった計画ではないので、その点においては、景観上大きな問題はないかと思えます。

公園について、景観上は敷地内の道路からのアイストップにもなり、また、河川側の景観形成としても大切な部分であると思えます。また、ここで育った子供たちの記憶にも残りますし、公園の中に入ってどのような使い方をするのかという点も大切です。

図面を確認しますと、フェンスが外周部分に計画されています。北側や西側については宅地があるため、どうしても目隠しフェンスを設けざるを得ない部分があるかと思えますが、東側や南側の公園正面エントランス付近までメッシュフェンスで囲われている状態です。低木があれば、子どもの飛び出しや、侵入防止の役割は果たせると思えますので、フェンスは必要ないのではと考えます。フェンスで囲われてしまうと、閉鎖的な空間になってしまい、景観上望ましくありません。

特に南側の正面エントランスの、丁度玄関口にメッシュフェンスが並んでいるというのは、あまり見たことのない景観です。

今申し上げた箇所のメッシュフェンスについては、取りやめることをご検討いただけないでしょうか。

設計者： 市の公園河川課との調整もありますが、再度検討いたします。

会 長： フェンスが無い方が、見通しも良く、景観上も良くなりますので、宜しく願いいたします。ぜひより良い公園にしてください。

2点目は公園の樹木についてです。計画では、マルバシャリンバイの低木のみでの植栽となっており、このような公園は見たことがありません。公園として、自然環境と触れ合えるという緑地の効果を出すためにも、多種多様な樹種をご検討いただき、また、高木や中木を必ず入れていただきたいです。マルバシャリンバイの本数を減らして中高木に置き替えていただければ、予算を変更せずとも対応できるかと思えます。

中高木を植えられる際には、河川沿いであることを考えると、高木であれば落葉樹のエノキ、花木であれば乾燥に強いサルスベリなどがよく用いられます。場所については、北側の水飲み場周辺ですと、アイストップとして機能し、景観上良いと思えます。

中高木が無いと、5月以降には日影ができず、誰も利用しない公園になってしまいますので、中高木は必ず計画してください。

緑陰が期待できるような落葉樹の他、常緑樹も数本入れていただくことが可能でしたら、子どもたちが遊べるような木の実がなり、乾燥にも非常に強

い常緑樹であるマテバシイなどもおすすめです。

低木については、マルバシャリンバイ 1 種であると病害虫が発生した場合に全て枯れてしまうため、維持管理上も問題となる部分がございます。

利用者の方の一番目に付くようなエントランス周辺や東側の植栽の部分については、ヒラドツツジやクチナシ、アベリア等、同等の価格で管理においても手間のかからない樹種を混植いただくと良いかと思えます。

3点目は、遊具の配置についてです。景観的なところかどうか難しいですが、このミニリンクが3台というのも非常に気になります。メンテナンス性について多少差異はあるかと思いますが、同じ種類より小型滑り台や砂場などといった遊具と組み合わせさせていただく方が良いのではないのでしょうか。

設計者： 公園の植栽については、今お伺いしたエノキやサルスベリ、常緑樹のマテバシイ等の樹種の採用を検討いたします。また、数年前に協議させていただいた際に、南側に落葉樹を植えるのが効果的だと教えていただきましたので、こちらも参考に進めていきたいと思えます。

委員： ゴミステーションに設置する容器については、アルミという事ですが色味や素材について、より具体的な情報を教えていただけますか。

事業者： 既製品で、材質はアルミ、色はグレーです。分譲地では他の事業でもこちらのものを設置しており、大きさは戸数によって3種類ございます。

委員： 素材感が良くわからないのですが、アルミのピカピカしたような反射性のあるようなものなのか、少しマットなものなのか、どちらでしょうか。

事業者： 反射するようなものではありません。

会長： 景観の協議においては、色彩や材質が重要になってきますので、カタログ等添付いただくと助かります。型番で検索してみると、マットに抑えられた茶色がかったもののようなので、すごく目立つというようなことはないかと思えます。

委員： 耐久性についても大丈夫でしょうか。ボロボロになってくることはありませんか。

設計者： 他で採用した実績もありますので、耐久性についても大丈夫です。

会長： 今回の分譲の住宅は、購入者の方と、仕様や色彩について決めていかれるというように伺っております。それぞれ購入者の希望もあるかと思いますが、まちなみとしての景観的な一定のまとまりや、周辺との調和についてご留意いただきたいと思います。

委員： まちなみ景観の統一に配慮いただきたいと思います。  
景観計画で示されている基準もありますが、特に今回の宅地の中で、色彩

や素材などで何か統一感を図っていく計画はありますか。

事業者： 基本的には今回は売り立て方式ですが、建物の外壁や屋根材については、まちなみの統一が図れるであろうというものを、一定数抜粋する予定です。  
かなりの種類は準備しますが、どれを選んでいただいてもまちなみを統一できるような色味を抜粋し、お客様に選んでいただく予定ですので、一定の統一は図れると思っています。

委員： 今おっしゃっていただいたように、まちなみの統一を図っていただきながら、落ち着きのあるまちなみをつくっていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

会長： 色彩について、一定数抜粋された中から選んでいただくということですが、その点について注意点などあればお願ひします。

委員： 外壁の色については、色相は自由に選んでいただいて良いと思いますが、明度は 8.0 以下、彩度は 3.0 程度が望ましいです。

設計者： 基本的に建物の外壁を決める際には、全面を 1 色のみとすることは少なく、1 色目は薄い色、2 色目は少し濃い色のものので貼り分けされることが多いです。  
マンセル値として、今伺った色彩に合うかどうかは改めて確認し、参考にさせていただきたいと思います。

委員： 一番気を付けていただきたいのは、真っ白な壁になることです。長尾山系の山は少し酸化鉄を含んだ土なので真っ白な砂ではなく、真っ白な壁にされると浮き上がってしまうため、少し色味をつけて欲しいとお願ひしています。  
彩度が低いと真っ白になってしまいますので、避けていただきたいです。宜しくお願ひいたします。

設計者： 参考にさせていただきます。

委員： 屋根の色彩についても気になります。  
河川敷から屋根の色が目立つように感じますので、ある程度色彩を統一されるのが良いと思います。

会長： 屋根においては、先ほどの外壁の数値とは違う部分もありますが、周辺と調和したものとなるように、この計画の中で統一感のある屋根材や色彩をご検討いただきたいと思います。

委員： 宅地造成の議題の際にはいつも、各宅地内の道路際へ、出来る限り木を植えてほしいとお願ひしています。豊かな植栽を計画いただけるとより良いですが、1 敷地にせめて 1 本、シンボルツリーとして植栽いただくよう、購入者へ提案していただきたいと思います。

会 長： 周辺には非常に豊かな緑が広がっておりますので、今回の計画の中でも緑豊かな住宅景観の創出を是非ともお願いしたいと思います。

樹種については、在来種で周辺との調和が取れるようなものをおすすめです。最近ですと、ミモザやフェイジア、洋風のオリーブ等を植えられることが多いのですが、そういったものよりも、常緑であればアラカシやシラカシ、ソヨゴ等の周辺の山系にもあるような自然的な雑木の樹種が良いです。これらは古くから庭木としてもよく使われるものです。

また、落葉樹であれば、エゴノキやコナラ、クヌギ、あるいは玄関口などにはヒメシャラといったような植物も庭木でよく使われます。このような樹木も、宝塚のような非常に豊かな地域ならではの良好な住宅環境をつくる上では良いかと思っておりますので、是非ともご検討いただきたいです。

今後の宅地造成の参考となるような、先進的な景観づくりの事例としてリードしていただけたら大変ありがたいと思っております。

事業者： ありがとうございます。検討させていただきます。

会 長： 委員からのご意見が出揃ったかと思っておりますので、以上で議題第2号の審議を終わりたいと思っております。ありがとうございました